

令和2年度 第1回 気仙沼地区教科用図書採択協議会 議事録

○日 時 令和2年7月1日(水)
午後1時30分～午後3時10分

○場 所 南三陸町教育委員会 教育長室

○出席委員 委員(会長) 小山 淳 気仙沼市教育委員会教育長
委員(副会長) 齊藤 明 南三陸町教育委員会教育長
委員(監事) 阿部 俊光 南三陸町教育委員会教育総務課長
委員 齋藤 博厚 気仙沼市教育委員会学校教育課長

欠席委員なし

○出席職員(事務局)

事務局員 小野寺恵美子 気仙沼市教育委員会学校教育課主幹兼学事係長

1 開 会 (午後1時30分開会) (進行:事務局員)

2 挨 拶 (小山会長)

今年度の教科書採択は中学校がメインになる。中学校の場合、異なる特性を持つ教科書を採択しなければならないため、小学校以上に作業が大変になることが予測される。

また、GIGAスクール構想に向け、ICT活用も重要な側面になることも、採択の中で考えていかなければならない。

子供たちにとって最善の教科用図書が採択されるよう、協力をお願いします。

3 会議録署名委員の指名

南三陸町教育委員会 齊藤委員をお願いします。

4 協 議 ※協議会規程第6条により会長を議長に選出

(議長:会長) 気仙沼市教育委員会小山教育長をお願いします。

(1) 報告第1号 令和元年度事業報告について 関連があるため一括説明(説明 小野寺)

(2) 報告第2号 令和元年度決算報告について

(3) 監査報告(報告:阿部委員)

○ 資料に沿って説明

○ 質疑なし

○ 承認

(4) 議案第1号 令和2年度教科用図書採択協議会役員を選出について

○ 気仙沼地区教科用図書採択協議会の規程第5条第2項、第3項により、会長については気仙沼市教育委員会の小山教育長、副会長には南三陸町の齊藤教育長、会計幹事には南三陸町の阿部教育総務課長を選任したいと思います。

○ 質疑なし

○ 次のとおり承認

会長	小山 淳	気仙沼市教育委員会教育長
副会長	齊藤 明	南三陸町教育委員会教育長
会計監事	阿部 俊光	南三陸町教育委員会教育総務課長

※ 説明 令和3年度使用教科用図書採択事務について（説明 齋藤委員）

教科書採択 Q&A より Q2 採択の仕組みを説明

事務担当者会議資料より 選定審議会委員構成について説明

(5) 議案第2号 令和3年度使用教科用図書採択基準について（説明 齋藤委員）

○ 宮城県教育委員会から示された採択基準で、当協議会においても採択事務を進めたい旨説明（採択の流れについても説明）

○ 質疑

- ・阿部委員 教科書の採択に係る基本方針の日付が、平成29年度になっているが、これが今年度も使われているのか。
- ・事務局 県での説明会で使われています。現在も平成29年度のものを使っている。
- ・小山委員 教科用図書採択基準について令和3年度使用となっているが、昨年度までと変更点はあるのか
- ・事務局 基本的には同じ。昨年度は小学校用のため、「児童」が「生徒」になるなど、異なる点はある。

○ 承認

(6) 議案第3号 令和2年度事業計画（案）について（説明：小野寺）

○ 資料に沿って説明

○ 質疑

- ・小山委員 専門委員会が1日となっているが、1日で足りるのか。
- ・事務局 昨年は2日間設定していたが、実質1日で終わったので可能と考える。

○ 承認

(7) 議案第4号 令和2年度予算（案）について（説明：小野寺）

○ 資料に沿って説明

○ 質疑

- ・小山委員 具体的にどのような算出方法になっているのか。
- ・事務局 気仙沼市は、昨年度見込んだ4月1日の学級数が205学級のため、学級負担金の400円を掛け82,000円となり、均等割負担金の10,000円を加え、92,000円とな

ります。南三陸町は学級数が 52 学級と見込み、学級負担金は 20,800 円となり、均等割負担金を加え 30,800 円となります。ただし、千円未満を切り上げているため 31,000 円が負担金でした。気仙沼市、南三陸町の負担金を合計し 123,000 円となります。

- ・齊藤委員 学級負担金はが年度により変わっているが、どのように決められているのか。
- ・事務局 採択がある年については、支出が増えるため負担金額を高くしている。
- ・齊藤委員 どのような支出が増えているのか。
- ・事務局 専門委員、審議委員の旅費が多くなる。また、専門委員会の際は外出に制限があるため、昼食の準備もしている

○ 承認

(8) 議案第 5 号 令和 2 年度教科用図書採択選定審議会委員の委嘱について

(説明：斎藤委員)

○ 資料に沿って説明

○ 質疑

- ・小山委員 気仙沼市と南三陸町の人数等も例年通りだが、今回は中学校の採択のため、中学校に関わる審議会委員を増やす等はしないのか。
- ・事務局 行っていない。

○ 承認

(9) 議案第 6 号 令和 2 年度教科用図書採択協議会専門委員会調査員の委嘱について

(説明：斎藤委員)

○ 資料に沿って説明

○ 質疑

- ・小山委員 13 ページの種目欄にある「+」の表記は何か
- ・事務局 社会の場合は、地理・歴史・公民の順番。社会の場合 3 つ教科書があり、地理が 4 社、歴史が 7 社、公民が 6 社となる。専門委員についても 4 年前は、社会が 4 人だったが、1 名増やした。また数学も 7 社あるため、4 年前の 3 名から 4 名に増やすなど、人数について見直した。
- ・小山委員 社会等について、専門的な部分は大丈夫。地理・歴史・公民は、高校の場合は、完全に専門性が分かれる。この専門委員の専門までは把握してないのでは。
- ・事務局 中学校の教師、地理・歴史・公民のを全部教えるので、問題ない。
- ・小山委員 音楽の「2+2」というのは。
- ・事務局 音楽は「一般」と「器楽合奏」、技術家庭は「技術」と「家庭」となる。

○ 承認

5 その他

採択状況等の公開の方針について (説明：小野寺)

- 採択状況等の公開の方針により、請求があれば、手続を踏んで公開することとしたい。
- 質疑

- ・小山委員 ホームページでの公開は考えているのか。
 - ・事務局 検討している。今後、他市町村の状況を確認していく。
- 原案承認

6 閉会（午後3時10分）



上記記録の正確なるを認め、ここに署名する。

令和2年7月1日

会議録署名委員

齊藤 明

